

平成23年度土木局及び都市局所管の
土木工事に係る検査等の基本方針について

土 木 局
(技術企画課)

1 専任職員による工事検査の実施

検査の透明性を確保し、工事の評価をより公平・客観的に行うため、原則として「検査専任職員による工事検査」を実施します。

請負代金額1億円以上の工事（但し、広島港湾振興事務所にあっては1億5千万円以上）の完成検査及び中間検査は技術企画課の参事（工事検査担当）が実施します。

請負代金額1億円未満の工事（但し、広島港湾振興事務所にあっては1億5千万円未満）の完成検査及び中間検査は、各建設事務所（支所）又は広島港湾振興事務所の参事（工事検査担当）が実施します。

工事内容等から必要と判断された場合は、請負代金額にかかわらず技術企画課の参事（工事検査担当）が検査を行うこととします。

2 施工体制の適正化の徹底

監理（主任）技術者の専任及び施工体制等の違反に対し、措置請求がなされている間は、中間及び完成検査は実施しないこととします。

全ての工事を完成し、かつ契約書において義務付けられている工事記録写真、出来形管理資料、工事報告書等の資料の整備がすべて完了していなければ、完成検査は実施しないこととします。

検査を実施中に、監理（主任）技術者の専任及び施工体制等の違反が確認された場合には、直ちに検査を中止するとともに、施工業者に対して改善の為の措置請求を行うこととします。

3 検査の透明性の向上

公共工事の透明性と信頼性を確保することを目的に、検査及び成績評定に関する要領、工事成績評定点の公表¹⁾を行います。

1) 公表の内容

土木局及び都市局所管の請負代金額500万円以上の土木工事を対象として、各工事の工事成績評定点、平均値、最大値及び最低値等を閲覧により公表します。

工事成績評定についての問合せ等に対しては、適宜、工事成績評定審査会に諮り適切な対応を行います。